

事業者向け

平成29年度
児童発達支援自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 法令を遵守したスペースを確保しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)しています。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 | | ○ | | 出来るだけ工夫して段差等の解消につめているが十分でない。現在新事業所を建設しており、新施設では達成される予定である。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | | ○ | | 療育終了後毎日清掃を行っている。民家を改装して使用しているため十分な運動スペースが確保できていないが、新施設では確保される予定である。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 日次で職員参加のミーティングを実施している。年に1度、事業所での目標設定を行い、各自担当を持って実施している。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 保護者へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげている。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ | ○ | | | 当社HPにて公開している。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 現在は、利用者・社内の2者評価をとっている。第三者による外部評価については、現在実施の予定はしていないが、今後必要に応じて実施を検討していく。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 管理者が指導員と共に計画をたてることにより、指導員がスキルアップできる仕組みを整えている。また、年数回は児童支援に関する研修会へ参加している。 |
| 適切な支援 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 計画期間ごとにアセスメントを取った上で放課後等デイサービス計画を作成している。また、統一したアセスメントシートを使用している。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 計画期間ごとにアセスメントを取った上で放課後等デイサービス計画を作成している。また、統一したアセスメントシートを使用している。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択された児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | 各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定している。それぞれの支援内容に沿って、具体的な内容でわかりやすく設定されている。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | 子どもの療育目標や支援方法を共有・議論するケース検討会を開催している。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | | | 前年度のプログラムやその時期ならではの行事を参考にしながら話し合って立案している。 |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|--|----------------------|---|
| 関 係 機 関 の 提 供 | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 子どもの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を行えるよう研鑽しています。子どもの成功体験を重視し、自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくります。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成している。一人ひとりに応じた支援計画を作成している。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっている。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっている。 |
| | 19 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 毎回指導記録をとり、見直すことで子どもの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新している。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 一定期間ごとにモニタリングを行い、サービス計画の見直しを行い、見直して計画については職員間で共有できるように情報共有を図っている。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管だけでなく、できるだけ担当者も出席し情報共有できるよう努めている。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | | 必要に応じて適宜行っているが、全員については十分に行っていない。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 | ○ | | | 必要があれば関係機関へ連絡し、情報共有と連携した対応を行うよう努めているが、システム化はされていない。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡 | ○ | | | 必要があれば関係機関へ連絡し、情報共有と連携した対応を行うよう努めているが、システム化はされていない。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 必要があれば関係機関へ連絡し、情報共有と連携した対応を行うよう努めているが、システム化はされていない。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 必要があれば関係機関へ連絡し、情報共有と連携した対応を行うよう努めているが、システム化はされていない。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関 | ○ | | | 地域のスキルアップ研修や他の研修での交流や情報提供などに努めている。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 保育士等との連携体制はできているが、子どもの交流する機会は持っていない。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡帳や送迎時に伝えることができている。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|--|--|
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ | | ○ | | 利用児及びご家庭の状況や状態に応じて行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 口頭での説明を行うとともに、事業所内に重要書類を提示している。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これ | ○ | | | 面談を行い、保護者から同意を得ている。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けている。また、要望があれば時間を調整し相談に応じる体制を構築している。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | 保護者会などの組織化は行っていない |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置している。苦情があった場合には、職員会議で対応を検討するとともに、外部相談窓口になっている専門家への報告を行っている。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し | ○ | | | 保護者向けオタ由を定期的に作成するとともに、事業所内にも情報を掲示している。 |
| | 38 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個人情報記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っている。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 出来るだけわかりやすい用語を用いて説明する、文章化して後で確認できるよう配慮している。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | 積極的な事業所の開放は個人情報の観点から行っていないが、地域の活動には支援の一環として参加する機会を設けている。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | マニュアルを策定し、研修を実施している。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 避難訓練を実施している。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | | モニタリング等で必要な情報を聞き、把握するようにしている。・事前 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 全ての子どもについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意している。必要に応じて医師の診断書も提出してもらっている。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有することとしている。 |

| | | | | | |
|----|---|---|---|--|-----------------------------------|
| 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | マニュアルを策定し、研修を実施している。 |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | | ○ | | 基本的に行わない方針で運営しており、職員配置を増やし対応している。 |